公益社団法人
日本小児歯科学会
Japanese Society of Pediatric Dentistry
近畿地方会会報
令和７年７月15日発行　No.24

巻頭言

教授就任のご挨拶

大阪歯科大学歯学部小児歯科学講座　海原　康孝

この度、令和７年４月１日付けで大阪歯科大学歯学部小児歯科学講座の第４代主任教授を拝命いたしました、海原康孝と申します。つきましては、紙面をお借りして会員の先生方に謹んでご挨拶申し上げます。

私は広島大学歯学部歯学科を卒業後、同大学大学院小児歯科学専攻に進学し、長坂信夫先生のご指導のもと、歯列咬合の成長発達に関する研究で学位を取得いたしました。その後、平成28年３月末まで小児歯科研究室にて診療・教育・研究に携わり、日本小児歯科学会専門医指導医、日本障害者歯科学会指導医、歯科医師臨床研修指導歯科医、ならびに自閉症スペクトラム学会認定自閉症スペクトラム支援士の資格を取得いたしました。

これまでの私の主な研究内容は、①顎顔面歯列の成長発育、②口腔機能発達不全症、③育児支援と児童虐待防止、④新しい治療法の考案の４点です。

① 顎顔面歯列の成長発育：統計学的に厳密な手法を用いることを重視した結果、論文がシステマティックレビューに掲載されました。

② 口腔機能発達不全症：研究成果がエビデンスとして高く評価され、医療技術提案書の作成や厚生労働省とのヒアリングに携わる機会を得ました。その結果、新病名「口腔機能発達不全症」のもと、2018年には「小児口腔機能管理加算」が、2020年には「小児口唇閉鎖力検査」が保険収載されるに至りました。これらの功績が認められ、令和６年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞いたしました。

③ 育児支援と児童虐待防止：「健やか親子21」の目標達成に向けた育児支援事業への参画、母親の育児不安に関する調査研究、一時保護所における歯科支援活動および調査研究に携わりました。また、行政による要保護児童の早期発見のための調査研究に協力し、被虐待児のスクリーニング指標の確立に貢献しました。

④　新しい治療法の考案：嚥下障害改善のための装置を活用した治療法や、簡便かつ短時間で実施できる部分矯正の治療法を新たに開発しました。加えて、発達障害児への効果的な行動療法についても論文を発表しております。

以上の通り、私の研究や社会貢献活動はすべて臨床に即したものであり、その発想は日々の診療における気づきや社会情勢に基づいています。これらの研究を遂行するにあたり、私は自身の所属研究機関に留まらず、多くの先生方とのコラボレーションを重視してまいりました。共同研究の大きな利点は、志や研究分野を同じくする者たちが集まることで、建設的な意見やアイデアが次々と生まれ、各自が得意とする分野を担当することで、短期間で質の高い成果発表が実現することです。この近畿の地において小児歯科医療のさらなる発展に貢献するため、今後は日本小児歯科学会近畿地方会の先生方とも積極的にコラボレーションさせていただきたく存じます。大阪歯科大学小児歯科学講座がこれまでに培ってきた知見と、近畿地方会が持つ地域に根差したネットワークを融合させることで、次世代を担う小児の口腔の健康増進に、より一層貢献できると確信しております。

微力ではございますが、大阪歯科大学歯学部小児歯科学講座の主任教授としての責務を全うしつつ、口腔機能発達不全症や育児支援など、社会のニーズに応える形で成果を上げてきた経験を胸に、特に若手歯科医師の育成、地域における小児歯科医療の質の向上、そして未来を担う子どもたちの口腔の健全な成長を支援することに尽力したいと存じます。国民全体の QOL 向上に寄与するため、先生方との活発な議論と協働を通じて、近畿地方会が小児歯科医療のリーディングハブとなるよう、粉骨砕身努力してまいる所存です。何卒、温かいご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

略　歴

1991年３月　広島大学歯学部歯学科卒業
1995年３月　広島大学大学院歯学研究科博士課程小児歯科学専攻修了
1997年４月　広島大学歯学部附属病院　文部教官　助手（小児歯科）
2003年10月　広島大学医学部・歯学部附属病院口腔健康発育歯科　文部科学教官　助手
2004年４月　広島大学病院　文部科学教官　助手
2007年10月　広島大学病院　助教
2018年４月　大垣女子短期大学歯科衛生学科　教授
2023年８月　朝日大学歯学部口腔構造機能発育学講座小児歯科学分野　准教授
2025年４月　大阪歯科大学歯学部小児歯科学講座　教授
現在に至る

知的能力障害や発達障害のある児への対応

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
障がい者歯科 主任部長　　大西　智之

知的能力障害（ID）や発達障害のある児の歯科診療では、不適応行動のため協力的に治療を受けることが困難な場合があります。とりわけ、発達障害、そのなかでも自閉スペクトラム症（ASD）のある児は、多動、奇声、パニック、感覚過敏性などの障害特性を有しており、歯科治療への適応が困難なことが多いです。このような児の治療にあたっては、コミュニケーションの確立やラポールの形成に基づいた心理学的なアプローチを用いることで、歯科治療に対する段階的なトレーニングを行い通法での治療を心がけることを基本としますが、コミュニケーション能力、環境適応能力、社会的経験などに問題がある場合はトレーニングの効果には限界があります。このような児に対して頻回にトレーニングを繰り返しても協力度の改善は期待できず、結果として患児や術者に無用の負担を強いることとなります。そのような場合は、身体抑制法や全身麻酔法などの特別な対応法が必要となります。

本稿では、知的能力障害や発達障害のある児に対して、身体抑制法や全身麻酔法などが必要であると考える目安や実施時の注意点についてまとめます。

歯科治療に対する適応性と発達年齢

歯科治療に対する適応性は患児の発達レベルと関連性が強いです。定型発達児においては、3歳未満では通法でおとなしく歯科治療を受けるのは困難ですが、暦年齢が高くなるに従い歯科治療に適応できるようになり、3歳半から4歳を越えると多くの児で通法での歯科治療が可能となります。ID のある児では発達の遅れや不均衡がみられるため、暦年齢よりは発達年齢を用いて歯科治療への適応性を予測します。発達年齢は様々な発達診断検査により評価されますが、当科では遠城寺式乳幼児分析的発達検査を用いています。

発達年齢が3歳10カ月以上の ID のある人は歯科治療に適応できる資質があると考えられるので、初診時に歯科治療に対して拒否的な行動を示していても、心理学的なアプローチを用いたトレーニングにより協力的になる可能性が高いと考えられています[1)]。一方で、発達年齢がその水準に達していなければ歯科治療に対して適応できる下地が整っていないので、いたずらにトレーニングを繰り返しても適応性が改善する効果は期待できず、早期に身体抑制法あるいは全身麻酔法などの方法を検討すべきです。同様に、ID を合併する ASD のある人においても歯科治療への適応能力と発達年齢との関連性は強いです。しかし、ASD のある人は発達に偏りがみられ、対人関係の構築や発語の発達が遅れる傾向があるのに対して、顔を洗ったり、着替えたりといった日常生活の基本的な習慣や言語理解の発達は比較的高いです。報告によりばらつきがあるものの、基本的習慣や言語理解の発達が概ね4歳以上であれば歯科治療に対して適応能力があると評価されます（**表1**）。一方で、発達の偏りから発語がほとんど認められない者の中にも、歯科治療に適応できる者がいることには注意が必要です。

このように、発達年齢は歯科への適応能力を診断するツールとして有用ですが、発達検査には時間を要するので多忙な日常の診療において実施するのは難しいかもしれません。そこで、遠城寺式乳幼児分析的発達検査の検査項目の中から歯科への適応と関連性が高い項目を検索した研究において、「長い、短いがわかる」や「入浴時ある程度自分で体を洗う」が的中率80%程度で高い関連性が示されました[2)]。長い棒と短い棒を患児に見せ、「どっちが長い？」と質問することで歯科への適応性を測る目安となると考えられます。

ASD のある人の歯科治療に対する適応性に関連する要因としては、発達年齢が最も重要ですが、障害特性も重要な要因であると考えられています。発達年齢が高い者のなかで、奇声を発する、ひどい多動傾向がある、自傷行為があるといった障害特性が認められる場合は歯科治療に対し適応が困難なことが多いです（表２）。そのため、知的能力が高くても詳細な障害特性の診査を行い、適応性を診断することは重要です。

表１　ASD 者が歯科治療に適応できる発達年齢の境界

文献	発達年齢(遠城寺式乳幼児分析的発達検査)					
	基本的習慣	対人関係	発語	言語理解	移動運動	手の運動
長田ら（2004）	3歳10カ月	2歳1.5カ月～2歳10.5カ月	―	2歳1.5カ月～2歳10.5カ月	2歳10.5カ月	3歳10カ月
隅田ら（2009）	4歳2カ月	4歳2カ月	2歳10.5カ月	4歳6カ月	4歳6カ月	4歳6カ月
大西ら（2012）	N.S.	3歳2カ月	2歳7.5カ月	4歳2カ月	―	―

N.S.　有意差なし
―　　記載なし

（大西智之：知的能力障害者・自閉スペクトラム症者に対する歯科治療と移行期管理．小児歯科臨床，27：24-33, 2022.）

表２　発達年齢の高い ASD 者が通法での歯科治療に適応困難な要因

障害特性	文献
奇声をあげる	隅田ら（2010），大西ら（2013）
重度の多動性がある	大西ら（2013, 2017）
重度の自傷がある	隅田ら（2010），大西ら（2017）
味覚，触覚などに対して感覚過敏がある	吉岡ら（2007）

（大西智之：知的能力障害者・自閉スペクトラム症者に対する歯科治療と移行期管理．小児歯科臨床，27：24-33, 2022.）

身体抑制法と全身麻酔法を選択する基準

幼児期に身体抑制下で治療を行っても、成長とともに10歳ごろまでに歯科治療に適応できるようになることも多いです[3)]。しかし、感覚過敏性、特に触覚過敏性を有する場合、自傷や重度の多動が認められる場合などは適応性の改善は望みにくく、全身麻酔法の適応になることが多いです[4)]。また、ASD や注意欠陥・多動症（ADHD）のある児の中には、ID を合併しない、あるいは軽度であっても協力的に歯科受診ができない場合があります。このような児に強制的

な治療を行った場合は、記憶に残り、心的外傷やトラウマを引き起こす可能性があります。心理的なアプローチが適応できる発達年齢に達しているにも関わらずトレーニングが奏功しない場合は、全身麻酔を考慮すべきだと考えます。また、知的能力が低く上記のような障害特性を認めない場合は、身体抑制経験が将来の歯科への適応性に影響を及ぼす可能性は低いですが、８歳ごろまでは身体抑制下で非協力的で、治療中は泣き暴れることがほとんどです。このような情報を保護者と共有し、全身麻酔下で治療を行うか、身体抑制法を選択するかを話し合う必要があります。

知的機能が高いにも関わらず全身麻酔法が適応となった児でも、10歳ごろまでには通法での治療が可能となることが多いです。また、知的機能が低い児でも、触覚過敏性などの障害特性を認めなければ、成長とともに身体抑制下でおとなしく治療ができるようになるケースも少なくないです。対応法に関しては、患者を良く観察し、成長に合わせて常に適否を検討する必要があります。

治療が難しくて薬物的な対応が必要でも、トレーニングにより定期健診は通法で、あるいは軽度の身体抑制下で問題なくできるようになる児も多くいます。治療は２次、３次医療機関で行い、日常の口腔ケアはかかりつけ医で行うといった病診連携が重要であると思います。

身体抑制法を行う場合には

日本障害者歯科学会が作成した障害者歯科診療における行動調整ガイドライン2024[5)]では、身体抑制下での歯科治療は、精神的・身体的リスクや人権の問題から推奨していませんが、薬物的な対応が困難な場合にそれを理由に治療を放棄することはできず、身体抑制法には一定の適応はある、としています。身体抑制法は、発達年齢が低いために心理学的なアプローチが適応できない場合に、障害特性を診査し、患者や家族などの意思を尊重した上で慎重に行うべきだと考えます。また、日本障害者歯科学会では歯科診療時の身体抑制の手引き[6)]を作成しています。残念なことに数年に一度、身体抑制法に関連する事故が起こっていますが、このような事故を未然に防ぐためであることはもちろんですが、仮に事故に直面した場合にご自身の身を守るためにも、身体抑制法を実施する際にはこの手引きをご一読ください。

身体抑制法を実施する要件として、切迫性、非代替性、一時性があげられ、この３条件が満たされていることを、複数の関係者で協議して実施を決定する必要があります。この要件は、もともと介護保険指定基準上のものであり、介護施設で適応されるべきものでした。そのため、歯科治療時にそのまま当てはめるとしっくりいかない場合もあります。急性期病院での抑制の違法性に関する平成22年の最高裁の判決では、これに代わり、危険性、非代替性、必要最小限を要件にあげており、歯科においてはこちらを用いてもいいかもしれません。

身体抑制法を行う際にはインフォームド・コンセントは必須です。手を添える程度の軽い徒手抑制はその限りではありませんが、器具を用いた抑制のみならず、複数人数での抑制の際にも同意書の取得は必要です。また、抑制の要件、同意、術中術後、帰宅後の患者の様子などをカルテに記載することも重要です。術中術後、帰宅後の様子や患者の適応状況の変化などにより、抑制の中止、継続を検討します。

身体抑制下で歯科治療を行った小児の脈拍数の変動は大きく、SPO_2の低下が見られたとの報告があり、術中の呼吸・循環のモニタリングは必須であると考えられます。実際、当科の診療時には SPO_2の低下はあまり経験していませんが、脈拍数は大きく上昇し休憩を余儀なくされるこ

ともあります。

初診時に ASD のある人が不適応行動を起こす要因を調べた研究において[7]、初診時の適応性は「医科抑制経験の有無」と強く関連していることが示されたものの、「歯科抑制経験の有無」との関連性は示されませんでした。筆者らは、医科と歯科での抑制経験が与える影響の違いは、歯科では行われている心理学的なコントロールを用いたトレーニングが、医科では行われていないことにあると考察しています。また、ネット式レストレーナーによる身体抑制下で心理学的なコントロールを行うことで、歯科受診、身体抑制、歯科治療の全ての項目で、それらを嫌がる患児が有意に減少したとの報告もあります[8]。身体抑制法は暴れるのを無理やり抑えるイメージではなく、治療中には優しく声をかけ、TSD 法、カウント法やオペラント条件付けなどを用いることで行動変容を促すことが大切です。しかし、就学前の ID のある児などで抑制下での治療が必要な場合には、号泣し続けることがほとんどで行動変容は望みにくいです。泣き止んでいる瞬間を捉えて声かけを行うことは大切ですが、泣きやますことに時間をとられるよりは可能な限り短時間で治療を行う努力も必要です。

定期健診での対応

歯科治療と定期健診では適応できる発達レベルに違いがあります。ID のある人において、発達年齢が２歳８カ月から３歳程度で口腔内診査に適応できると言われており、歯科治療と定期健診での対応法は分けて考えるべきだと思います。発達年齢の低い ID のある人に対して、まず全身麻酔下で歯科治療を実施し、その後定期健診を行いながらトレーニングを進めていくのも有効な方法です。かかりつけ医と高次の医療機関が連携して口腔内管理を行えばいろいろな対応ができると思います。

低年齢の ID のある児、とりわけ ASD のある児では、デンタルチェアで仰臥位での健診が困難な場合が多いです。小児の場合は、発達年齢に加えて暦年齢も歯科への適応性と関連しているので、初診時の診査に協力できなかった ID のある児では、７～８歳ごろまでデンタルチェアで仰臥位になれないことも多いです。当科では、そのような場合には床に敷いたマット上で健診を行っています（**図１**）[9]。TBI、口腔内診査、フッ素塗布はもちろん、サホライド塗布やセメントでの仮封などの齲蝕進行抑制処置、場合によってはハンディーの器具を用いての歯面研磨など、デンタルチェアを用いなくてもできることは多いです。低年齢の ID のある児でもマット上での健診には早期に適応できるので[9]、デンタルチェアで暴れる中行うよりは、安全で確実な処置ができます。タイミングを計りながら、デンタルチェアへの誘導もスムーズに行えます。齲蝕を認

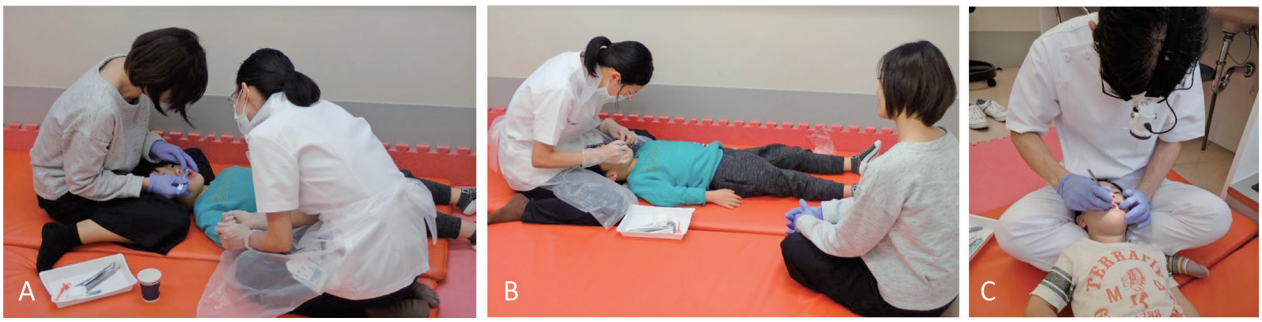


図１　マット上での定期健診。A. 保護者へのTBI。B. 衛生士による歯磨き。C. 歯科医師による口腔内診査

めた場合には、齲蝕進行抑制処置を施しながら、齲蝕の大きさや進行の予測と身体抑制法や全身麻酔法のリスク、心理的な影響などを天秤にかけて、治療のタイミングを考えることが大切だと思います。

文　献

1）穂坂一夫：歯科診療へのレディネスに関する研究　第Ⅱ編　発達障害者のレディネス，愛院大歯誌，32：573-585, 1994.

2）穂坂一夫，他：発達検査からみた発達障害者の歯科治療への適応予測．障歯誌，20：282-287, 1999.

3）大西智之，他：幼児期に体動抑制下での強制的な歯科治療を行った自閉スペクトラム症児のその後の歯科への適応性の評価，障歯誌，38：154-161, 2017.

4）大西智之，他：幼児期に強制的な歯科治療を経験した自閉症者に対する定期健診時の行動調整法の評価．障歯誌，34：34：91-97, 2013.

5）公益社団法人日本障害者歯科学会　診療ガイドライン作成委員会：障害者歯科診療における行動調整ガイドライン2024，https：//www.jsdh.jp/resources/guideline/behavior.html, 2024.

6）一般社団法人日本障害者歯科学会　ガイドライン検討委員会：歯科診療時の身体（体動）抑制の手引き，障歯誌，39：45-53, 2018.

7）鈴木香保利，他：自閉スペクトラム症者における初診時の適応要因．障歯誌，43：193-201, 2022.

8）立川義博，他：知的障害を有する自閉症児におけるネット式レストレーナーを活用した行動調整法の有効性の検討．小児歯誌，47：732-737, 2009.

9）大西智之，他：自閉スペクトラム症児に対するリハビリ用マットを用いた定期健診．障歯誌，44：28-33, 2023.

近畿地方会県別会員数（Ｒ７年６月現在）

	正会員	準会員	学生会員	名誉会員	単年度会員	賛助会員	会員数合計	専門医指導医	専門医（指導医を含む）	認定医	認定歯科衛生士
滋　賀	32	1	0	0	0	0	33	1	8	1	2
京　都	63	8	0	0	1	2	74	2	14	1	4
大　阪	350	33	0	2	1	6	385	17	78	9	19
兵　庫	156	16	0	3	1	0	176	4	38	3	5
奈　良	40	6	0	0	0	0	46	1	6	2	2
和歌山	18	1	0	0	0	0	19	0	4	0	1
合　計	659	65	0	5	3	8	733	25	148	16	33
全　国	4,501	495	6	39	25	35	5,101	234	1,108	101	161

あかしユニバーサル歯科診療所のご紹介

春木　隆伸（兵庫県）

あかしユニバーサル歯科診療所の前身である「障害者等歯科診療所」は、昭和62年に明石市により設置され、明石市歯科医師会が指定管理者として、水曜・木曜の午後、週２日の３時間診療を行ってまいりました。

しかし、月あたりの受け入れ可能患者数は約100名と限られており、すぐに受け入れ体制がひっ迫しました。そこで、当時歯科医師会の障害者歯科委員会委員長であった私と、志を同じくする当時の理事とともに、診療日時の拡大、歯科医師の増員、診療台の増設などについて行政に働きかけを行ってまいりました。

さらに、患者アンケートの実施、市議会議員や障害者団体への説明活動など、さまざまな取り組みを行いましたが、なかなか具体的な進展には至りませんでした。

そうした中、粘り強い交渉を重ねた結果、当時の泉房穂市長に旧診療所をご視察いただく機会を得ることができ、「障害者歯科の充実は急務である」との市長の強いご判断をいただきました。それを契機として、平成30年に新診療所建設プロジェクトが始動し、令和２年６月に新たに「あかしユニバーサル歯科診療所」として開所、今年で無事に５年目を迎えることができました。

当診療所では、診療台５台に加え、全身麻酔機器を導入しています。歯科麻酔学会専門医である加藤所長と障害者歯科認定医の山根副所長の２名の常勤医、歯科医師会からの執務医、大学からの非常勤歯科医師を含む常時３名の歯科医師体制で、４名の歯科衛生士、２名の受付スタッフとともに、平日は終日、土曜日は午前中の診療を行っております。

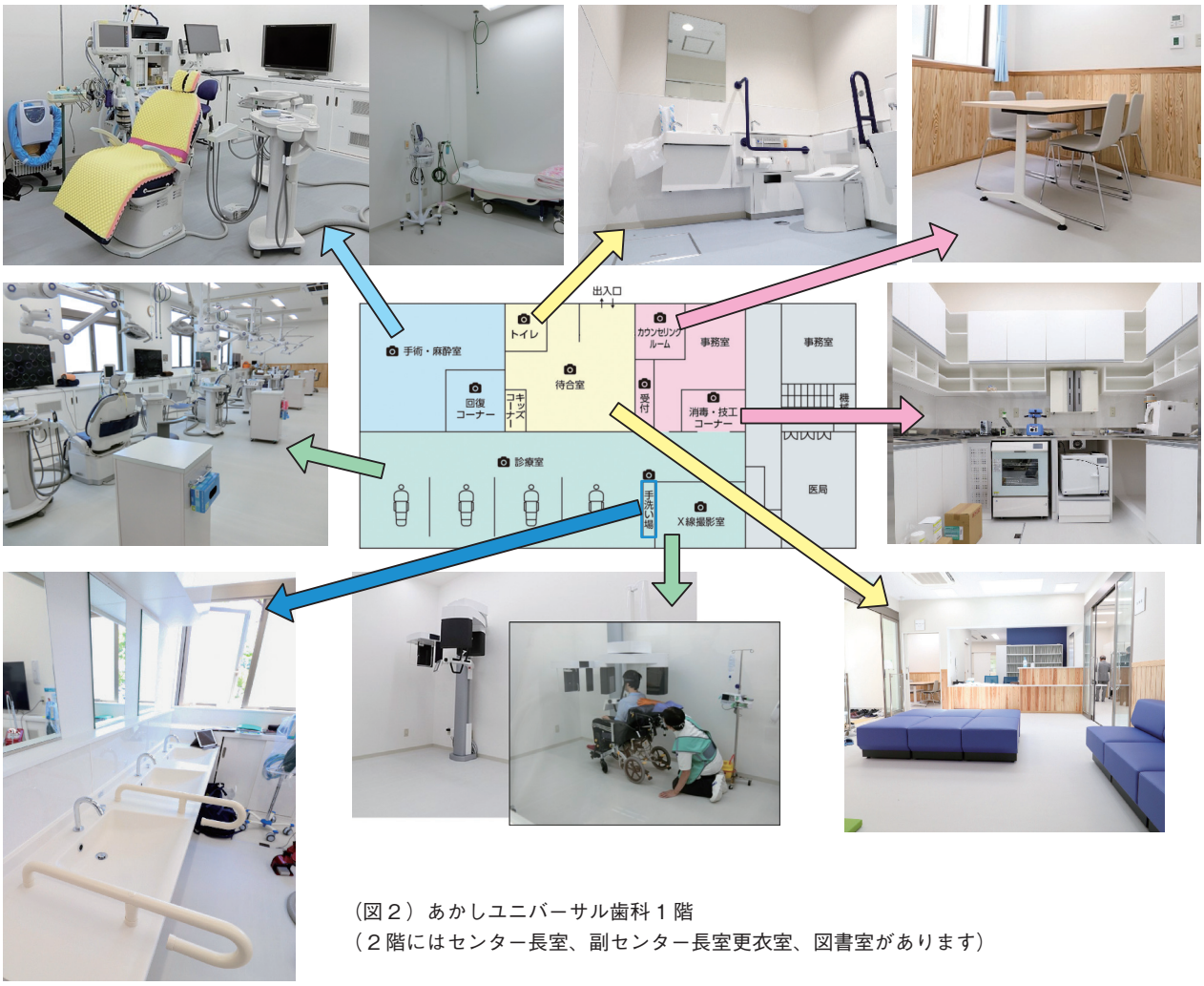
（図１）あかしユニバーサル歯科外観

また、日本でも先駆的な取り組みとして、隣接する明石市立市民病院と密接に連携し、歯科診療時の偶発症や麻酔時の入院対応などを相互に支援しています。歯科側からは、周術期口腔機能管理にも積極的に取り組んでおります。

明石市は人口約30万人の地方都市ですが、行政、市議会、障害者団体など多くの関係者のご理解とご協力により、ここまで充実した障害者歯科診療所を開設することができました。

現在は、毎月約350名の障害児・障害者の診療を行っており、そのうち約10名は全身麻酔下で、約35名は静脈内鎮静法を用いて対応しています。

私自身も現在、障害者歯科委員会の一委員として診療に携わり続けており、この分野に関わってから25年が経ちました。今後も所長を中心に、新しい診療所でスタッフ一同、より多くの患者さんに安心・安全な歯科医療を提供できるよう努めてまいります。



（図２）あかしユニバーサル歯科１階
（２階にはセンター長室、副センター長室更衣室、図書室があります）

明石市立あかしユニバーサル歯科診療所
〒673-0848　兵庫県明石市鷹匠町１-33（明石市立市民病院敷地内）
TEL：078-918-5664
ＨＰ：https://akashi-udo.jp/facility/summary/

IAPD グローバルサミット報告

大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学講座
助教　鋸屋侑布子

2024年11月８～10日にポルトガル・ポルトにおいて、第３回国際小児歯科学会グローバルサミット（3rd Global Summit of International Association of Paediatric Dentistry）が開催されました。ポルトガル第二の都市である「ポルト」は国名の起源にもなった港湾都市で、ドロウ川沿いに広がる旧市街地は「ポルト歴史地区」として世界遺産に登録されています。会場となった Sheraton Porto Hotel & Spa は、旧市街地から電車で30分ほどの距離に位置し、世界各国から多くの参加者が集まりました。

クレリゴス教会

ドン・ルイス一世橋
ドロウ川に架かるポルトガルの世界遺産

ドン・ルイス一世橋から望む
世界遺産の旧市街

本グローバルサミットのテーマは“Pulp Therapy Rooted in Evidence”「エビデンスに根ざした歯髄治療」ということで、歯髄処置に関連したテーマで最新の研究や知見に関する講演が行われ、ポスター発表では賑やかな会場の中で、活発な議論が繰り広げられました。

IAPD 2025大会組織委員会スタッフ
左から
Dr. Marietjie Weakley 大会長
仲野 IAPD 2027大会長
Dr. Nicoline Potgieter　学術プログラム委員長
Dr. Tshepiso Mfolo　南アフリカ小児歯科学会理事長

Opening Reception

Poster Session

また、本グローバルサミットでは、IAPD 2025大会（南アフリカ大会・ケープタウン）PRブースが設置されました。ブースでは、サファリを彷彿とさせる動物の置物が置かれ、南アフリカのボールペンやお菓子が配布されました。印象的だったのは、紙媒体の配布物はなく、様々な QR コードが設置されていたことです。その場で登録することで参加料が割引となるクーポンコードをもらえるものや学会の最新情報を届けてもらえるもの、様々な南アフリカ料理のレシピを見ることができる変わり種までありました。

IAPD 2025大会 PR ブース

割引クーポン
登録により参加費割引クーポンをゲット

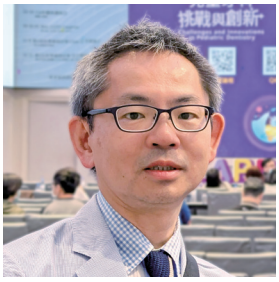
南アフリカ料理紹介 QR コード
読み取るとレシピを見ることができます

今年の10月22日～25日に開催される IAPD 2025大会から、世界に向けて IAPD 2027大会のプロモーション活動が本格始動します。IAPD 2025大会の会場では会期を通して PR ブースが設置され、23日の夜には“Japan Night”が開催されます。Japan Night では、次回の IAPD 大会開催国である日本が、各国の要人をご招待しておもてなしと PR 活動を行う場になります。大会組織委員会では、この会で日本の文化や食べ物など、日本の素晴らしさを余すことなく紹介すべく準備を進めています。南アフリカは日本から遠く離れた国ですが、一生の中で訪れる機会はなかなかないと思いますので、ぜひ数多くの日本の先生方にご参加いただければと思います。そしてぜひ Japan Night にもご参加いただき、各国の先生方と交流していただきながら、日本の良さを少しでもアピールしていただけると嬉しく思います。近畿地方会会員の皆様におかれましては、IAPD 2027大阪大会を一丸となって盛り上げていただけますよう、これからもご協力いただけますと幸いです。

REFRESH. REFOCUS. RENEW.
22 - 25 OCTOBER 2025
CAPE TOWN, SOUTH AFRICA

第30回国際小児歯科学会大会（IAPD 2025）
https://iapd2025.org/
会期：2025年10月22－25日（23日夜に Japan Night 開催）
会場：ケープタウン国際会議場

大会テーマ
Refresh－Refocus－Renew
10月23日の Japan Nightでは、日本と IAPD 2027大阪大会の PR をするので是非ご参加下さい。



第34回台湾小児歯科学会大会（TAPD）に参加して

石井　信行（兵庫県）

2025年の台湾小児歯科学会大会は６月７日・８日の２日間、メリディアン台中で開催されました。台湾好きの私は、神戸空港から台中に直行便が就航したこともあり、昨年に続いての参加です。仲野和彦先生をはじめとする大阪大学の先生方や、近畿地方会会長の春木隆伸先生も参加されており、神戸空港の国際化が大会参加の一助になっていると感じました。

台中旧駅舎とメリディアン台中

プログラムも全て QR コード

e-poster 発表中の春木会長

今回の大会テーマは“Challenges and Innovations in Pediatric Dentistry”。日本からも齊藤一誠先生が講演され、フィリピン、韓国の先生方が小児の口腔機能にフォーカスした学術的、臨床的な講演をされていました。ただ、メーカー主導とも思われる汎用品を用いての早期矯正治療は、機能的矯正装置の治療効果の是非が議論される矯正歯科分野において、メーカーが販路を小児歯科医に向けていると感じることも多く、個人的には、より長期的な治療効果を検証する必要があるように感じました。

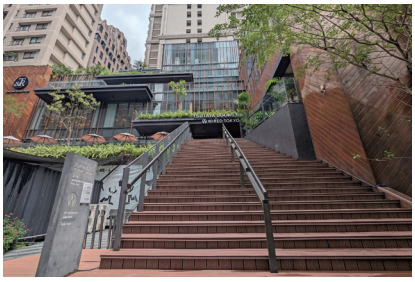
個人的に台中を訪問した大きな目的は“建築”。プリツカー賞を受賞している伊東豊雄さんの代表作の一つである台中国家歌劇院をはじめ、建築好きには見どころ満載です。

台中国家歌劇院

国立公共情報図書館

分子薬局

私は未だに？建築家を夢見ているので、台中市内を東奔西走。必ず訪れるべき世界の1001の図書館の一つである国立公共情報図書館、台湾一美しい薬局と言われる分子薬局、世界の美しい書店20選に選ばれた蔦屋書店。リノベーションの成功例と言えるスイーツショップの宮原眼科や第四信用合作社等、見どころは尽きません。


蔦屋書店台中市政店

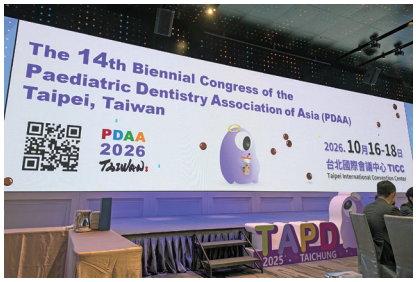
宮原眼科

第四信用合作社

そんな建築の余韻に浸りながら、安くて美味しいローカル食堂でＢ級グルメを堪能すれば、また台湾に行きたくなります。来年（2026年）は10月16日～18日の会期で第14回アジア小児歯科学会大会（PDAA 2026）が台北で開催されます。皆さんもこの機会に行かれてはどうでしょうか。親切で美味しくて居心地の良い台湾は、本当にいつ行っても最高です。

ミシュラン ビブグルマンのローカル食堂

市場のマンゴーは絶品



PDAA 2026台北大会は来年10月

第14回アジア小児歯科学会大会（PDAA 2026）
https://www.pdaa2026.org/
会期：2026年10月16－18日
会場：台北国際会議場

第44回日本小児歯科学会近畿地方会大会および総会開催に向けて

第44回日本小児歯科学会近畿地方会大会
大会長　海原　康孝

令和７年11月30日（日）に大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）にて、第44回日本小児歯科学会近畿地方会大会を開催させていただく運びとなりました。このような貴重な機会を賜りました近畿地方会会長の春木隆伸先生、そして会員の皆様に心より御礼申し上げます。

小児歯科学と小児歯科医療は新たな局面を迎え、学問の発展と子どもの口腔健康達成に向けた尽力が強く求められています。私たちは、子どもたちの未来のために何ができるかという問いに直面しています。その想いを、メインテーマである「今を生きる子どもたちに贈りたい小児歯科」に込めました。すべての子どもたちが幸せな未来を享受できるよう、最善の医療をいち早く提供したいという切なる願いが、このテーマには込められています。

特別講演には、医学・歯学の複数領域にまたがる深い専門知識と豊富な経験をお持ちの先生方をお招きいたします。

小児感覚器科分野の第一人者である益田 慎先生には、「嚥下の発達からみた脳性麻痺・ダウン症・ASD 児の摂食嚥下」と題してご講演いただきます。益田先生のご高話は、すべての小児歯科医療関係者にとって必聴であり、臨床家として摂食嚥下を診る上で確かな指針となることと確信しております。また、日本小児歯科学会指導医の鈴木 淳司先生には、「開業歯科医院の小児在宅歯科診療への取り組み～開業医は1.5次診療所として機能しうるか～」と題したご講演をお願いしました。深い専門知識と豊富な経験に裏打ちされたアプローチをぜひ学んでいただければと存じます。

一方、2025年３月に日本小児歯科学会から「乳歯と幼若永久歯の小窩裂溝塡塞ガイドライン」が発表されました。認定歯科衛生士セミナーでは、このガイドラインの作成委員長である苅部 洋行先生を講師にお招きし、最新の指針に基づいた小窩裂溝塡塞に関するエビデンスと実践的な技術をいち早く習得していただく機会を提供いたします。

特別講演・市民公開講座として、教育の最前線でご活躍の鳥羽 和久先生に「子どものことがわからない－思春期心性と親子関係の築き方」と題したご講演をお願いしました。『親子の手帖』など多くの著書や講演活動を通じて、親子の対話や子どもの自立を提唱されている鳥羽先生の言葉は、子どもたちと関わる皆様にとって、目から鱗の気づきと、日々の診療に活かせる実践的なヒントとなることでしょう。その他、一般発表、商業展示、ランチョンセミナー等の企画も準備しております。

この学会が、 ご来場くださる皆様にとって、小児の身体と精神の発達全体を総合的に診る視点と、それを支える実践的な技術を習得される場となることを心より願っております。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。最後に、準備委員長の阿部 洋子先生をはじめ、本大会の運営にご尽力くださる皆様に深く感謝申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

第44回日本小児歯科学会近畿地方会大会および総会

大会テーマ

『今を生きる子どもたちに贈りたい小児歯科』

日　　時：2025年11月30日（日）
会　　場：大阪府立男女共同参画・青少年センター（大阪ドーンセンター）
〒540-0008　大阪市中央区大手前１丁目３番49号
京阪、Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅①番出入口から東へ約350m
大　会　長：海原　康孝（大阪歯科大学小児歯科学講座　教授）
準備委員長：阿部　洋子（大阪歯科大学小児歯科学講座　准教授）
大会事務局：〒540-0008　大阪市中央区大手前１－５－17
大阪歯科大学歯学部小児歯科学講座内
第44回日本小児歯科学会近畿地方会大会事務局
44chihoukai@cc.osaka-dent.ac.jp
大会参加費：歯科医師・医師：7,000円　歯科衛生士・他：3,000円　学生：無料
大 会 内 容

教育講演Ⅰ
「嚥下の発達からみた脳性麻痺・ダウン症・ASD 児の摂食嚥下」
益田　　慎　先生（県立広島病院小児感覚器科　主任部長）

教育講演Ⅱ
「開業歯科医院の小児在宅歯科診療への取り組み
～開業医は1.5次診療所として機能しうるか～」
鈴木　淳司　先生（すずき歯科小児歯科矯正歯科　院長）

特別講演（市民公開講座）
「子どものことがわからない－思春期心性と親子関係の築き方」
鳥羽　和久　先生（株式会社寺子屋ネット福岡　代表取締役）

認定歯科衛生士研修セミナー
「小児う蝕予防におけるシーラントの科学的根拠と実践的課題」
苅部　洋行　先生（日本歯科大学生命歯学部小児歯科学講座　教授）

一般発表：展示発表

専門医・認定医・認定歯科衛生士資格更新発表：展示発表

ランチョンセミナー１
株式会社　松風　齲蝕予防系セミナー（先着108名）
大川　玲奈　先生（大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学講座　准教授）

ランチョンセミナー２
江崎グリコ（株）　口腔機能系セミナー（先着72名）
村井　雄司　先生（村井産婦人科小児歯科医院　副院長）

企業展示

日本小児歯科学会近畿地方会　2024年度収支計算書

自　2024年４月１日
至　2025年３月31日

科目	予算額	決算額	差異	執行率	備考
Ⅰ．収入の部					
事業収入					
大会収入	3,000,000	5,519,110	2,519,110	184%	地方会大会収入合計（近畿地方会事務局準備金を含む）
広告収入	0	0		0%	
寄付金収入					
寄付金収入	0	0		0%	
雑収入					
受取利息	20	451	431	2255%	
雑収入	0	0		0%	
当期収入合計(A)	3,000,020	5,519,561	2,519,541	184%	
本部からの補助金	900,000	934,500	34,500	104%	
前期繰越収支差額	2,800,000	3,477,350	677,350	124%	
収入合計(B)	6,700,020	9,931,411	3,231,391	148%	
Ⅱ．支出の部					
事業費					
会誌刊行費	200,000	573,818	373,818	287%	会誌・ニュースレター等
大会補助金	500,000	284,400	－215,600	57%	地方会大会への補助金
大会事業費	3,000,000	5,498,796	2,498,796	183%	地方会大会支出合計
管理費					
各種委員会費	0	0	0	0%	
本部会議費	50,000	88,375	38,375	0%	役員会開催費・出張費・慶弔費等
事務費	500	1,375	875	275%	印刷費・通信費・消耗品等
ホームページ運用費	0	0	0	0%	
雑費	0	0	0	0%	
特別支出					
寄付金支出	0	0	0	0%	
予備費					
予備費	0	0	0	0%	
当期支出合計(C)	3,750,500	6,446,764	2,696,264	172%	
当期収支差額(A)－(C)	－750,480	－927,203	－176,723	124%	
次期繰越収支差額(B)－(C)	2,949,520	3,484,647	535,127	118%	

日本小児歯科学会近畿地方会　2025年度収支予算書

自　2025年４月１日
至　2026年３月31日

科目	予算額	備考
Ⅰ．収入の部		
事業収入		
大会収入	3,000,000	地方会大会収入合計
広告収入	0	
寄付金収入		
寄付金収入	0	
雑収入		
受取利息	500	
雑収入	0	
当期収入合計(A)	3,000,500	
本部からの補助金	900,000	
前期繰越収支差額	3,484,647	
収入合計(B)	7,385,147	
Ⅱ．支出の部		
事業費		
会誌刊行費	200,000	会誌・ニュースレター等
大会補助金	500,000	地方会大会への補助金
大会事業費	3,000,000	地方会大会支出合計
管理費		
各種委員会費	0	委員会関係の支出
本部会議費	100,000	役員会開催費・出張費・慶弔費等
事務費	1,500	印刷費・通信費・消耗品等
ホームページ運用費	0	
雑費	0	
特別支出		
寄付金支出	0	
予備費		
予備費	0	
当期支出合計(C)	3,801,500	
当期収支差額(A)－(C)	－801,000	
次期繰越収支差額(B)－(C)	3,583,647	

第43回日本小児歯科学会近畿地方会大会を振り返って

第43回日本小児歯科学会近畿地方会大会
大会長　岡本　篤剛

第43回日本小児歯科学会近畿地方会大会および総会は、令和６年11月24日（日）に神戸芸術センターにて開催されました。大会当日は秋晴れの穏やかな天候に恵まれ、477名（歯科医師323名、歯科衛生士143名、その他11名）の方に参加いただきました。全参加者の約1/4 にあたる120名の方が近畿地方会以外から参加下さいました。また、41社の企業に支援をいただき、充実した大会運営を執り行うことができました。大会が盛会裏に終わり、運営に携わって下さいました関係各位にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

大会テーマは台風で中止になった第37回大会から引き継ぎ「心をはぐくむ、体をはぐくむ、未来をはぐくむ」と致しました。テーマに沿って様々な分野から講演を依頼致しましたところ、素晴らしい演者の方々に快諾いただくことができました。

特別講演Ⅰ（日本小児歯科学会公益事業講演）は、自閉症の内面を平易な言葉で伝えた世界的ベストセラー作家の東田直樹先生に「自閉症の僕の心をはぐくんだもの」、同氏の母親である東田美紀氏には「今、子育てを振り返って」をご講演いただきました。本公演は公益事業講演として兵庫県下の歯科衛生士養成機関から学生ならびに先生方を無料招待いたしました。質疑応答では歯科衛生士学校の学生をはじめ多くの質問があり有意義な講演となりました。

特別講演Ⅱは、幼児前期の口腔機能発達が幼児後期の咀嚼機能等の発達に大きく影響する事に着目し日本で初めて幼児食品を開発研究された元江崎グリコ株式会社執行役員 商品開発研究所長　宮木康有先生に「食品企業の新商品の開発の実際～医療関係者と共に取り組んだ事例紹介」に題してご講演いただきました。

教育講演Ⅰ（認定医セミナー）は、大阪大学歯学部附属病院 言語聴覚士主任としてご活躍されている杉山千尋先生に「「ことばが不明瞭な子ども」を見守り、育む～歯科の現場でできること～」と題してご講演いただきました。

教育講演Ⅱは、University of North Carolina at Chapel Hill、School of Dentistry、Oral and Craniofacial Sciencesに14年間研究に従事され、現朝日大学講師 寺嶋雅彦先生に「近年の著しい技術進歩を用いた海外の歯科矯正治療に関して」をご講演いただきました。

認定歯科衛生士セミナーは、小児歯科を専門とされ様々な幅広い研究課題に取り組んでこられた宝塚医療大学准教授 野上有紀子先生に「歯科衛生士の視点で「気になる子ども」をみる」と題してご講演をいただきました。

臨床歯科衛生士セミナーは、四日市市歯科医療センター副センター長として、特に障害者歯科の第一線でご活躍されている松岡陽子先生に「笑顔を育む歯科衛生士の役割～障害児者へのアプローチ～」と題してご講演をいただきました。

ランチョンセミナーは３社の協力を得て実施いたしました。ランチョンセミナー①は、株式会社松風の協賛により「う蝕の最新情報：豹変するバイオフィルム」と題して天野敦雄先生（大阪大学歯学研究科 予防歯科学講座 特任教授）にお話しいただきました。ランチョンセミナー②では、インビザライン・ジャパン株式会社の協賛により「これから始めるインビザライン・ファースト～その導入の意義とは～」と題して有田光太郎先生（ありた小児歯科・矯正歯科 院長）にお話しいただきました。ランチョンセミナー③では、江崎グリコ株式会社の協賛により「デンタルガム（ポスカＦ）を活用しよう　舌圧改善と歯科保健教育」と題して浜野美幸先生（千葉歯科医院 院長）にお話しいただきました。

一般展示発表は29演題、認定歯科衛生士発表は３演題、合計32演題による質疑応答が行われ活発な意見交換が行われました。松風スチューデントアワードは、大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学講座 髙木美里先生の「大理石骨病患児の下顎左側乳犬歯に歯周炎由来の歯肉膿瘍が生じた１例」が受賞されました。大会優秀発表賞は、大阪歯科大学小児歯科学講座 青木　翔先生の「上顎大臼歯部にみられた双生歯の一例」、医療法人社団はるき小児・矯正・歯科 荻野由紀子先生の「出生直後に抜歯した先天性歯の一例　－乳歯列・永久前歯交換に与える影響－」、ならびに同クリニック　春木隆伸先生の「０歳11か月児の下顎中切歯脱臼の治療について」、大阪大学歯学部小児歯科学講座 藤崎舞香先生の「小児における口唇閉鎖力と舌圧の年齢との関連と相互の相関についての検討」の４演題が受賞されました。

大会終了後は、同会場の会議室で懇親会が行われ、大会参加者、出展企業の皆様が親交を深め大いに盛り上がりました。

次回の第44回近畿地方会大会は、大会長に2025年度に大阪歯科大学小児歯科学講座の教授に就任されました海原康孝教授のもと、大阪府立男女共同参画・青少年センターで開催されます。次回も引き続き多数のご参加をどうぞよろしくお願い申し上げます。

第43回日本小児歯科学会近畿地方会大会 大会優秀発表賞

上顎大臼歯部にみられた双生歯の一例

大阪歯科大学小児歯科学講座
青木　　翔

この度は優秀発表賞にご選出いただき、誠にありがとうございます。
また、選考委員の先生方および学会関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。
本報告は、上顎大臼歯部にみられた双生歯の一例について発表させていただきました。
同様の症例における診療の一助となれば幸いです。
今回の受賞を励みに、今後も一つ一つの症例と誠実に向き合いながら、臨床経験を積み重ねて参ります。
誠にありがとうございました。

第43回日本小児歯科学会近畿地方会大会 大会優秀発表賞

出生直後に抜歯した先天性歯の一例　－乳歯列・永久前歯交換に与える影響－

はるき小児・矯正・歯科（兵庫県）
荻野由紀子

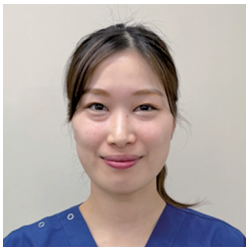
この度は身に余る賞にご選出くださり、誠に有難うございます。心より感謝申し上げます。
今回は医療センター小児科より精査加療を依頼された症例の中から、先天性歯の保存及び抜歯が、顎骨の発育及び後継永久歯の萌出におよぼす影響について、家族とともに長期経過を追うものを発表させていただきました。
元々歯周病学専攻ですが、小児歯科分野においても他職種との情報共有や、共同診療を通して問題を早期に発見し対応することの大切さを日々痛感しています。
今回の受賞を励みに、日々精進し、今後も小児の健全な成長発育を支援するために、積極的に医科との連携を図り推進していきたいと思います。
末筆になりますが、ご指導いただいた先生方、関係者の皆様方、快く協力してくださった患者様や家族の方々に重ねてお礼申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

第43回日本小児歯科学会近畿地方会大会 大会優秀発表賞

０歳11か月児の下顎中切歯脱臼の治療について

はるき小児・矯正・歯科（兵庫県）
春木　隆伸

この度は、栄誉ある賞を賜り、心より御礼申し上げます。近年、う蝕や歯周病の罹患率は減少傾向を示している一方で、口腔外傷による歯の喪失は依然として見過ごせない問題です。なかでも乳歯の外傷に関しては、外傷歯学会のガイドラインにおいて「処置を行わない」とされるケースがあるものの、日々の臨床に携わる小児歯科医の立場からは、その方針に疑問を感じる場面も少なくありません。
本発表では、乳歯外傷に対する積極的な介入の可能性とその臨床的意義について検討いたしました。本研究が、今後の外傷歯科医療における一助となり、子どもたちの口腔健康と QOL の向上に資することができれば、これに勝る喜びはございません。



第43回日本小児歯科学会近畿地方会大会 大会優秀発表賞

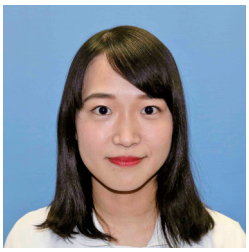
小児における口唇閉鎖力と舌圧の年齢との関連と、相互の相関についての検討

大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学講座
藤崎　舞香

この度は、優秀発表賞にご選出いただき、大変光栄に存じます。

同大会では、「小児における口唇閉鎖力と舌圧の年齢との関連と、相互の相関についての検討」について発表させていただきました。小児の口腔機能に関しては活発に議論が続いておりますが、多くの因子が関与する複雑な領域であり、未解明な点も多く残されています。今回の解析がその一端を明らかにする手がかりとなり、わずかでも本分野の発展に寄与できたのであれば幸いです。今後も引き続き検討を重ね、精進していきたいと存じます。

末筆となりましたが、本研究の終始に渡り多大なるご指導いただきました、大阪大学歯学研究科小児歯科学講座 仲野和彦教授、大継將寿助教をはじめとする先生方に深く御礼申し上げます。



第43回日本小児歯科学会近畿地方会大会 松風スチューデントアワード

大理石骨病患児の下顎左側乳犬歯に歯周炎由来の歯肉膿瘍が生じた１例

大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学講座
髙木　美里

この度、第43回日本小児歯科学会近畿地方会大会での「大理石骨病患児の下顎左側乳犬歯に歯周炎由来の歯肉膿瘍が生じた１例」の発表に対し、松風スチューデントアワードを頂き大変光栄に存じます。

本症例では、大理石骨病患児に歯周炎由来の歯肉膿瘍が生じましたが、洗浄と抗菌薬の投与により顎骨骨髄炎を防ぐことができました。今後も短い間隔での口腔衛生管理を継続し、歯周炎の予防に努める予定です。また、この症例を通して得た知見を今後の臨床にも活かしていきたいと思います。

最後になりましたが、本症例発表を行うにあたり多大なるご指導を賜りました仲野和彦教授をはじめとする大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学講座の先生方に深く御礼申し上げます。

第64回日本小児歯科学会大会

大会テーマ	「チャンプルーの心で育むこどもの笑顔」
大会期日	2026年５月21日（木）・22日（金）
会場	沖縄コンベンションセンター 〒901-2224　沖縄県宜野湾市真志喜４－３－１ https://www.oki-conven.jp/access/
大会長	苅部　洋行（日本歯科大学生命歯学部小児歯科学講座　教授） 朝田　芳信（鶴見大学歯学部小児歯科学講座　教授）
準備委員長	河上　智美（日本歯科大学生命歯学部小児歯科学講座　准教授） 船山ひろみ（鶴見大学歯学部小児歯科学講座　准教授）

地元のとっておき　～ 天満橋・ドーンセンター周辺を歩く ～

青木　　翔（大阪歯科大学小児歯科学講座）

天満橋の見どころ

歴史の重み、大阪城公園へ

天満橋駅から徒歩15分ほどの距離にあるのが、大阪城。豊臣秀吉によって築かれた名城で、現在の天守閣は昭和初期に復興されたものですが、その壮麗な姿は今もなお圧巻です。天守閣の内部は博物館になっており、戦国時代や大阪の歴史を学ぶことができます。また、城を囲む大阪城公園は広大で、四季折々の花が楽しめる市民の憩いの場としても親しまれています。春は桜、秋は紅葉、晴れた日は芝生で過ごす人々の姿も多く見られます。園内にはカフェやレストランも点在し、歩き疲れた際の休憩にも便利です。

店舗情報

ジェイティードカフェ（JTRRD cafe）

色鮮やかなアートスムージーが話題のカフェ。季節ごとに変わるデザインはインスタ映え間違いなしです。店内はテーブル６席、カウンター５席の小ぢんまりとした空間で、アットホームな雰囲気が魅力です。見た目も味も楽しめるアートスムージーをはじめ、創造性あふれるメニューが魅力のカフェです。

〒530-0043　大阪府大阪市北区天満３丁目４－５　タツタビル１F
電話番号：06-6882-4835

店舗情報

京阪シティモール

天満橋駅直結の「京阪シティモール」は、ショッピング・グルメが一通りそろった便利な施設。館内にはカフェやレストランも多く、学会前後の食事や休憩にも便利となっております。おすすめは８Ｆにある、すだち蕎麦で有名な土山人。香り高くのどごしの良い十割そばと、季節の野菜や天ぷらとの組み合わせが人気。ランチには蕎麦と小鉢がセットになった御膳が好評で、夜は蕎麦前（そばまえ）の一品料理と日本酒を楽しむ方も多いです。

＊北浜にも店舗がございます。

観光スポット

大阪らしさ満載！天神橋筋商店街へ

ドーンセンターから少し北へ歩けば、日本一長いアーケード商店街天神橋筋商店街へアクセスできます。約2.6kmにもおよぶこの商店街には、老舗の和菓子屋、昔ながらの喫茶店、雑貨屋、ディープな居酒屋などが軒を連ね、歩くだけでも楽しい通りです。おすすめは、地元で長年愛される「中村屋」のコロッケ。１個100円前後とリーズナブルながら、揚げたてのホクホク感は感動もの。食べ歩きしながら、庶民的な大阪の空気を味わってみてください。

レジャー情報

大阪ダックツアー！水陸両用バス！

大阪の天満橋エリアで体験できる「大阪ダックツアー」は、水陸両用バスを使って大阪の街並みと水辺を同時に楽しめるユニークな観光ツアーです。

・スプラッシュイン体験：陸上を走行中のバスが桜ノ宮で水辺に進入し、スロープから「スプラッシュイン」する瞬間は迫力満点。ドライバーが船長に早変わりし、水上バスに変身します。

・観光ルート：水上からは中之島公園の噴水やなにわ三大橋を眺めることができ、車窓からは大阪の名所を巡ります。

・所要時間：３月20日～11月30日は約75分（陸上45分＋水上30分）、12月１日～３月19日は約60分のコースです。

住所：〒540-0032　大阪市中央区天満橋京町３-５
福助ビル502号　TEL：06-6941-0008

おすすめスポット

静と動の融合、天満宮と繁昌亭

商店街の近くには、大阪天満宮があります。学問の神様・菅原道真公を祀るこの神社は、学生や研究者の参拝も多いパワースポット。境内は静謐な雰囲気に包まれ、都会の喧騒を忘れさせてくれます。そのすぐ隣にあるのが、上方落語の殿堂「天満天神繁昌亭」。タイミングが合えば、昼席（13時～）に気軽に寄席を楽しむことができます。１人でも入りやすく、ちょっと笑って疲れを癒したい時にぴったりです。

おすすめスポット

造幣局・桜の通り抜け

ドーンセンターの目の前を流れる大川は、桜の名所としても有名。春には造幣局の「桜の通り抜け」が開催され、全国から花見客が集まります。川沿いには遊歩道が整備されており、朝夕の散歩にぴったり。ベンチも多く、リラックスしたひとときを過ごすことができます。

《日本小児歯科学会近畿地方会》

2025年度役員名簿

会　　長（常任幹事）	春木　隆伸
副 会 長（常任幹事）	原田　京子 ・ 佐々木秀和
常任幹事	仲野　和彦 ・ 海原　康孝
会　　計	大川　玲奈 ・ 増田　勝彦
庶　　務	岡本　篤剛 ・ 石井　信行
監　　事	池尾元三朗 ・ 大橋　健治
顧　　問	嘉ノ海龍三 ・ 梶本祐一郎 ・ 樂木　正実
歯科衛生士会	永井るみこ
大　　学	阿部　洋子 ・ 鋸屋侑布子 ・ 門田　珠実 ・ 園本　美恵
滋 賀 県	池本　博之
京 都 府	石橋　　淳 ・ 桑原　茂久 ・ 杉本　勘太 ・ 仲岡　佳彦
奈 良 県	生野　伸一 ・ 中川　佳昭 ・ 林　　昌司 ・ 松下　　標
和歌山県	沖殿ちひろ ・ 金尾　貴子 ・ 金尾　好章 ・ 田岡　郁敏
大 阪 府	淺田　匡彦 ・ 吾妻　昭夫 ・ 大西　智之 ・ 川口　　護
	桒原　康生 ・ 佐々木有美 ・ 新門　正広 ・ 副島　之彦
	竹安　正治 ・ 中原　弘美 ・ 松尾　博之
兵 庫 県	金澤　真亨 ・ 亀井有太郎 ・ 坂田　　滋 ・ 竹内　幸雄
	徳永順一郎 ・ 徳永有一郎
名誉会員	祖父江鎮雄 ・ 大嶋　　隆 ・ 嘉藤　幹夫 ・ 有田　憲司

●編集後記

紆余曲折のあった大阪関西万博ですが連日多くの人が押し寄せて盛況のようです。世界中の国々の今を知ることができ、また最先端のテクノロジーに触れることのできるまたとない機会です。ただ来場者の７割強が50歳以上というデータもあります。次代を担う若年層が知見を広める良い機会のはずですが、若者は興味を示していないようです。企画を考える世代と、今の若者の間に大きな乖離を感じます。小児歯科は大丈夫でしょうか？今の小児歯科は若者（次世代を担う学生や研修医）に魅力的に映っているのでしょうか？万博の行列を見て、そんなことを感じます。（N.I）

＊今回、会報発行にお手伝い頂いた方々＊

海原　康孝・大西　智之・春木　隆伸・鋸屋侑布子
大川　玲奈・岡本　篤剛・青木　　翔・荻野由紀子
藤崎　舞香・髙木　美里・田中純一郎・佐々木有美
西村　貴子・石井　信行　（敬称略）

日本小児歯科学会近畿地方会 HP
http://jspd-kinki.umin.jp

《住所変更（会誌送付先の変更）方法》

住所変更を含む会員情報の変更は、OHASYS のマイページから各自変更を行って下さい。

OHASYSログインページ
https://ohasys.net/login

令和７年７月１日　印刷
令和７年７月15日　発行
発行者　公益社団法人　日本小児歯科学会近畿地方会
広報委員会
印刷所　日昌印刷（株）